



戦前、戦中、戦後を  
生き抜いた101歳

小池地区に暮らす、101歳になる元気な滝川イヌ子さんに出会いました。ふくよかでおおらかなイヌ子さん、交わす会話のテンポも弾みます。

大正10年生まれ、イヌ子さんは19歳の時に、20年前に86歳で亡くなった夫の次人さんと結婚しました。次人さんは当時、外務省の中国領事館に勤務しており、イヌ子さんは単身で熊本から夫の勤務地の青島へ渡りました。それから太平洋戦争が勃発。



101歳とは思えないほど元気な滝川さん

青島で生まれた子どもたちを育てながら、夫を支えてきたイヌ子さんは、「あの頃は中国も日本も物がなくて、生活するのに苦しい時代でした」と振り返ります。

終戦後の引き揚げでは、次人さんから「もし、何かあったら自刃するように」と言われ、子どもを連れて命がけで帰国したそうです。次人さんは帰国後、熊本県警に赴任。一家で戦後の厳しい時代を乗り越えてきました。「戦前、戦中、戦後と生き抜いてきました。戦後、今のような平和な世の中に生かされていることに感謝するばかり」と話します。

散歩の終わりに

小池秋永地区を貫く、通称「小池バイパス」。アクセスがとても便利になりましたが、これまでなじめなかった道に行くのもいいものです。歩いてみなければ気がつかない野菜の無人販売所や、ほっとする昔ながらの景観に出合えます。集落の魅力を教えてくれた皆さんに感謝です。



わがまち散歩

小池秋永編